

紹介

XFUSION ショックアブソーバーをご購入いただき、ありがとうございます。XFUSION は、自社製品の高級マウンテンバイクショックアブソーバーに誇りを持っています。当社の全製品は、最高品質の部品と優れた設計、そして広範なライディングテストを経て製造されています。これらの製品は、設計への情熱と高級マウンテンバイクライディングの体験から生まれました。XFUSION 製品を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。インストール、使用、メンテナンス、および製品保証方針など非常に重要な情報が記載されています。

フロントフォークおよびリアショックの調整

フロントフォークおよびリアショックの機能調整は以下の通りです:

- 赤色調整ノブ: リバウンド調整
- 青色調整ノブ: 低速コンプレッションダンピング調整
- 青色調整ノブ (RL/RL2 製品): ロックアウト機能のオン・オフ
- 金色調整ノブ: 高速ダンピング/PLATFORM 調整

ダートジャンプ

ダートジャンプは、障害物からもう一方の障害物に飛び移るエクストリームスポーツです。この危険な特性から、どのフロントフォークもダートジャンプの衝撃に耐えられると証明されていません。ダートジャンプを行う際は、ユーザーは追加の予防措置を取り、極端な使用による損傷を定期的にチェックする必要があります。また、技術的に熟練した自転車技師や XFUSION の認定サービスセンターで定期的に点検を受けてください。これらの点検を怠ると、製品の故障や重大な傷害、さらには死亡事故の原因となる可能性があります。

警告!!

XFUSION ショックアブソーバーを動力付き自転車、電動スクーター、またはモータービークル、あるいは二人以上が乗る車両(タンデムバイクなど)に取り付けしないでください。このような不適切な使用は、ショックアブソーバーの故障を引き起こす可能性があります。不適切な使用による損傷は、製品の故障や重大な傷害、さらには死亡事故の原因となります。XFUSION の製品を不適切に使用して生じた損傷は保証の対象外となります。

警告!!

XFUSION ショックアブソーバーには高圧の窒素ガス、空気、またはその両方が含まれています。製品を刺したり、燃やしたり、加圧したりしないでください。XFUSION のマニュアルに明確な指示がない限り、製品を分解しようとししないでください。また、その指示と警告を厳守してください。これを守らないと、重大な傷害や死亡事故の原因となる可能性があります。

警告!!

XFUSION 製品を改造したり、他の修理部品を使用したりすると、製品の故障を引き起こし、重大な傷害や死亡事故の原因となる可能性があります。XFUSION の製品部品を改造しないでください。許可されていない製品改造は保証の対象外となり、製品の故障や重大な傷害、さらには死亡事故の原因となります。

警告!!

ライディング前に、ホイールとアクスルのクイックリリースが指示通りに固定されているか確認してください。自転車のホイールが正しく固定されていないと、製品の故障や重大な傷害、さらには死亡事故の原因となります。

警告!!

ライディング前に、自転車に取り付けられている部品が製造元の指示に従って取り付けられ、調整されているか確認してください。不適切な取り付けや調整はシステムの故障を引き起こし、製品の損傷や重大な傷害、さらには死亡事故の原因となる可能性があります。

警告!!

ディスクブレーキシステムの潜在的な故障を避け、重大な傷害や死亡事故を防ぐために、ディスクブレーキの取り付けボルトは、1) フロントフォークと一致する 10-12 ミリメートルのねじ込み部分を持ち、2) 製造元のトルク設定値を維持しなければなりません。すべての場合において、ディスクブレーキ取り付けボルトの締め付けトルクレベルは、製造元のトルク値を下回らず、90 in-lb を超えないようにする必要があります。

警告!!

フロントフォークのドロップアウトを使用して自転車を車のラックに固定する際は、自転車の傾きを避け、構造的な損傷を防ぐ必要があります。フロントフォークのクイックリリースが確実に固定されていること(9mm クイックリリース、X15 および X20、ならびに自転車フレーム取り付けスルーアクスル)を確認し、後輪も固定されていることを確認してください。自転車が傾いたり車のラックから外れたりした場合は、資格のある自転車修理技術者、認定サービスセンター、または XFUSION の指定された担当者による点検と認可を受けるまで乗車しないでください。構造に損傷のあるドロップアウトやフォークの脚は、車両の制御を失い、重大な傷害や死亡事故の原因となる可能性があります。

警告!!

クイックリリース機構を使用して、ディスクブレーキシステムとオープンドロップアウトを装備した前輪を固定する際は、クイックリリースが適切に装着されていることを確認してください。適切に装着されていないクイックリリース機構は、ライディング中に前輪が自転車から突然外れる原因

となります。前輪が外れると、重大な傷害や死亡事故の原因となる可能性があります。製造元の指示に従って、ホイールを固定するための装置を取り付けてください。

警告!!

機能しなくなったリアショックを無理に引っ張ったり、開けたり、分解しようとししないでください。この「機能不全」状態は、正方向および逆方向のエアチャンバーにある動的なエアシールが故障し、逆方向のエアチャンバーが正方向よりも高い空気圧を維持することで発生する可能性があります。ショックが「機能不全」状態にあるかどうかを確認するために、以下の手順を試してください。

エアバルブキャップを取り外し、エアバルブの針を押し下げて、空気圧を完全に正方向のエアチャンバーから放出してください。ショックが収縮し、正方向のエアチャンバーから空気が完全に放出された場合、XFUSION Shox 高圧ポンプを使用して、250 psi (17 bar) まで加圧してください。ショックが完全に伸びない場合、それは「機能不全」状態にあることを意味します。

警告!!

不適切な修理手順でスタック状態の XFUSION エアショックを修理すると、重大な傷害や死亡事故の原因となる可能性があります。XFUSION の技術サポートチームまたは認定サービスセンターに修理を依頼してください。

サービス内容

フロントフォーク

メンテナンス項目	周期の目安(Hours)
フォークチューブに付着したゴミや汚れを取り除く。	毎回の乗車後
空気圧をチェックする(エア・フォーク)	毎回の乗車後
トップチューブに切り傷や溝がないか点検する。	毎回の乗車後
ダストカバーとフォークチューブに注油する。	毎回の乗車後
クイックリリーススピンドルのトルクをチェックする	毎回の乗車後
リモート・ロックアウト・ケーブルとメカニズムを清掃または交換(推奨)。	25 回目ごとの乗車
下脚を取り外し、ブッシュを清掃/点検し、作動油を交換する(必要な場合)。	25 回目ごとの乗車
空気圧スプリングパッケージの清掃と注油	50 回目ごとの乗車
ダストキャップとオイルシールの交換	100 / 1 年
DLA クランプの再組み立て	100 / 1 年
ダンピングユニットの作動油を交換する。	100 / 1 年
スプリングパック(スプリングフロントフォーク)の清掃と注油	100 回目ごとの乗車

リアショック

メンテナンス項目	周期の目安(Hours)
フロント・フュエル・ラインの汚れの清掃	毎回の乗車後後
空気圧とサグの設定の点検。	毎回の乗車後後
ショックアブソーバーのボルトトルクの確認	毎回の乗車後後
オイルラインへの注油。	5 回目ごとの乗車
エアシャフトの取り外しや清掃、注油	25 回目ごとの乗車
エアアウトボードシャフトの修理(シールの交換)	50 回目ごとの乗車
減衰システムを完全に作り直し、油圧オイル* の交換	100 / 1 年

- 修理サービスは、認定されたサービスセンターによって実行される必要があります。
- アフターショックシリーズの保守点検を行い、分解後に油圧油が濃い色になっており、油管の内壁に摩耗が見られる場合、これは正常な現象です。

XFUSION 保証書

保証 XFUSION は、全ての製品について、材料および/または製造上の欠陥に対して 24 ヶ月の保証を提供します。この保証は製品の最初の購入者にのみ適用され、譲渡はできません。保証の対象となるには、購入後 24 ヶ月以内であることを証明する必要があります。保証期間は購入日から 24 ヶ月です。

24 ヶ月の保証期間は、XFUSION の裁量またはグローバル認定サービスセンターの判断によってのみ適用されます。XFUSION またはその代理人は、故障が製造、材料、または製品の欠陥によるものかどうかを判断します。購入者が欠陥を通知せずに 60 日以内に保証を主張しない場合、無効となります。

XFUSION およびその代理人は、最終的な保証および非保証の主張に関するすべての権利を留保します。

全ての XFUSION 製品が有効な総合保証条件を維持するためには、購入者は定期的な製品の保守、清掃、およびメンテナンスを、メンテナンスマニュアルに従って行う必要があります。

保証制限条件

一般的な保証範囲外の不保証事項には、次のいずれかの故障が含まれます：

- XFUSION の品質部品とは異なる部品やアクセサリーの取り付け。

- 異常な応力、怠慢、乱用、および/または誤った使用。
- 事故や衝突による損傷。
- 純正部品以外の改造。
- 改造や純正部品の取り外し。
- 適切なメンテナンスの欠如(メンテナンススケジュールを参照)。
- ダンピングアセンブリユニットの分解を試みること。
- 輸送中の損傷や損失(全額補償保険の購入をお勧めします)。
- 適切でない配線、シートポスト、岩、衝突、または不適切な取り付けによる製品の内外の損傷。
- XFUSION の技術的に認可されたサービスセンター以外でのオイル交換やサービス。

特別事例の保証事項には以下が含まれます:

- 正常な摩耗、裂け、および/または日常のメンテナンスによる部品交換。
- 部品の正常な摩耗および/または日常のメンテナンス:ライニングおよび軸ライニング、シール、ショック油など。

XFUSION には、その他のいかなる形式の保証も、明示的にも暗黙的にも行われません。ここに、XFUSION は、本保証規定を超える責務や時間制限を負担しないこと、および特定の目的、商品性、および適合性に関するすべての暗黙の保証が排除されることを主張します。

XFUSION フロントフォークの取り付け

気圧式フォークの最大気圧スプリング圧力:

【140PSI】

Velvet, Migo 9mm 27.5, Migo 27.5 Boost, Migo 9mm 29 RC32 9mm, RC32 27.5 Boost, RC32 29 Boost, Bruno 30, Slant ,Sweep Boost, Slide Boost, E-Slide Boost, Mcqueen Boost, Migo 34 27.5 Boost, Migo 34 29 Boost, Vengeance 38, Rezza 29 Boost

【120PSI】

Trace36, Metric, RV1 38

最小スプリング圧力:

【50PSI】

Velvet, Slant, Migo 9mm 27.5, Migo 27.5 Boost, Migo 34 27.5 Boost, Migo 9mm 29, Migo 34 29 Boost, RC32 9mm, RC32 27.5 Boost, RC32 29 Boost, E-Sweep Boost, Sweep Boost, Slide

Boost, E-Slide Boost, Mcqueen Boost, Bruno 30, Rezza 29 Boost, Vengeance 38, Trace36, Metric, RV1 38

注意

DLA フロントフォークのモデルには、一部の専用サスペンション用エアポンプがフォークの底部から気圧を調整する必要があります。その他の気圧式フォークは、エアバルブが付いている肩カバーの下の「AIR」と書かれたキャップから気圧を調整できます。

警告!!

これは特別な注意事項です。新しい XFUSION フォークを自転車に取り付けるには、有資格の自転車整備士に依頼する必要があります。フォークの正しい取り付けについて疑問がある場合は、自分で取り付けようとししないでください。誤ったフォークの取り付けは、取り付けの失敗を引き起こし、それによりライダーのコントロールを失わせ、重大な怪我や死亡につながる可能性があります。



警告!!

30mm を超えるハンドルバーシムを使用しないでください。このような場合、ハンドルが早期に故障する可能性があります。それによりコントロールを失い、重大な怪我や死亡につながる可能性があります。既存のフォークを自転車から取り外します。XFUSION フォークのステアリングチューブの長さを元の長さと比較し、XFUSION フォークのステアリングチューブを切る必要があるかどうかを確認します。



注意

切断する前に、ステムとヘッドセットのメーカーに相談して、十分なステアリングチューブのクランプ長さがあることを確認してください。ステアリングチューブの切断エリアに刻み込み、切断、印をつけたり、他の損傷を与えないでください。これによりステアリングチューブが損傷し、使用者に重大な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。

ステムのコラムをカットする

ステムのコラムをカットする前に、ステムの製造元の推奨に従い、十分なコラムクランプの長さを確保してください。コラムに正確な長さをマーキングし、カットします。

警告!!

コラムに欠けや溝がある場合、このクラウンキャップ/コラムセットは交換する必要があります。欠けや溝があると、コラムが早期に損傷し、自転車の制御不能やユーザーの深刻な怪我、死亡の原因となる可能性があります。

常に新しいスレッドレスヘッドセットを使用し、ヘッドセット製造元の取り付け説明書に従ってください。

警告!!

XFUSION のフロントフォークのスレッドレスコラムにタップを切ろうとしてはいけません。スレッドレスコラムにタップを切ると、コラムが早期に損傷し、自転車の制御不能やユーザーの深刻な怪我、死亡の原因となる可能性があります。

1 1/2 インチのコラムには 39.8mm のフォークヘッドセットを、1 1/8 インチのコラムには 29.9mm のフォークヘッドセットを使用してください。

コラム内にエキスパンダーを取り付ける際は、エキスパンダー製造元の取り付け説明書に従ってください。

警告!!

クラウンキャップセット内のコラムやフォークチューブを自分で取り外したり交換したりしようとしてはいけません。取り付け済みのクラウンキャップ、コラム、フォークチューブなどを改造すると、クラウンキャップセットの損傷を招き、自転車の制御不能やユーザーの深刻な怪我、死亡の原因となる可能性があります。

XFUSION 単一フロントフォークの取り付けと使用方法

ヘッドセットの製造業者の指示に従い、ヘッドセットの軸受部品を取り付け、ヘッドセットのプリロードを調整し、余分な隙間や軸受の抵抗が感じられないようにします。

ステムの製造業者の規定に従い、ステムのボルトを適切なトルクで締めます。

ブレーキの製造業者の指示に従い、ブレーキを取り付けます。

フロントディスクブレーキを取り付ける際には、ホースをフォークの内側を通り、フォークのホースガイドを通します。

警告!!

ディスクブレーキのホースが前輪や他の可動部品に接触しないように注意してください。安全な配線を確認するために、資格のある自転車技術者による点検をお願いします。不適切なブレーキホースの取り付けは、ユーザーに重大な傷害や死亡をもたらす可能性があります。ホースガイドのボルトを内六角レンチを使用して 8in-lb(0.90Nm)のトルクで締めます。

注意

ブレーキホースがフォークのショルダーカバーに接触すると、時間の経過とともにカバー表面が摩耗する可能性があります。接触を避けられない場合は、テープや同様の保護材を使用してください。XFUSION の保証はフォークのショルダーカバーの摩耗をカバーしていません。フォークがオイル漏れ、トップアウトやボトムアウトが過剰である、または異常な音がする場合は、直ちに XFUSION Shox または XFUSION Shox の認定サービスセンターに連絡して点検または修理を依頼してください。XFUSION フォークを清掃する際には、高圧の空気ツールや電動工具を使用しないでください。

15mm/20mm クイックリリースアクスルの取り付け

前輪クイックリリースアクスルを組み立てる前に、まず前輪をフロントフォークのクローに注意してセットし、ブレーキディスクがキャリパーのパッドの間にあることを確認し、その後クイックリリースをクローの拡張部の穴に正確に合わせてハブにロックします。

警告!!

組み立てる前に、クイックリリース内部に蓄積した汚れを確認し、ハブとクイックリリースアクスルの合わせ寸法を確認してください。不適切な寸法の組み合わせは、ライダーの負傷または死亡の可能性が極めて高いです。クイックリリースアクスルをハブに通し、反対側の固定スレッドに接触するまで差し込みます。ロックできなくなったら、クイックリリースアクスルを手で保持し、手のひらの力で安全な位置までロックし、組み立て中はいかなる手工具も使用して力を増すことは厳禁です。クイックリリースアクスルの最小ロックトルク値: 80 kgf-cm (70 lbf-inch) クイックリリースアクスルの最大ロックトルク値: 115 kgf-cm (100 lbf-inch) 内六角レンチを使用して、クイックリリースアクスルとクイックリリースレバー間の内六角ボルトを緩めて正しい位置に調整し、正しい位置はフロントフォークの前方で、フォークからの距離が最小 1mm から最大 20 mm の間になるようにします。

注意

ライド中にクイックリリースアクスルのレバーをクローの下にロックしたままにすると、不明な物体に当たり、クイックリリースアクスルが突然外れる潜在的な危険が非常に高くなります。上記の指示に従ってクイックリリースアクスルを取り付け、危険を最小限に抑えてください。

リモートロックアウトレバーの取り付け**警告!!**

必ず純正のエンドキャップを使用してください。不安定なエンドキャップは、走行ケーブルの外装の破損を引き起こし、深刻な場合にはライダーの負傷または死亡につながる可能性があります。

注意

カーボンファイバー製のハンドルバーを使用している場合、線制ロックアウトレバーを取り外す際には、ゆっくりと固定ネジを緩めてください。組み立てる際には、必ずハンドルバーの純正技術仕様書を確認し、適切なトルク値で締め付けてください。

警告!!

前輪や可動部品が走行ケーブルに触れないようにし、資格を持つ自転車技術者によって、線制ロックアウトレバーの走行ケーブルが安全であることを確認してください。誤った組み立ては、ライダーの負傷または死亡につながる可能性があります。以下の手順に従って、XFUSION のフロントフォークとリアサスペンション用の線制ロックアウト製品を取り付けてください。線制ロックアウトレバーアセンブリの取り外しと取り付けには、3mm の内六角板レンチを使用してください。

個人の好みに応じて、右側または左側のグリップを取り外してください。まず、レバーアセンブリをハンドルバーに挿入し、走行ケーブル解除ボタンをライダーの方向に調整し、最後に調整ネジをフレームの中心にできるだけ合わせてください。完了後、レバーアセンブリがブレーキレバーの上に位置するかどうかを確認してください。この手順には左右の区別はありません。グリップを再取り付けしてください。線制ロックアウトレバーアセンブリをグリップの内側に位置させ、グリップがレバーアセンブリの動作を妨げないことを確認してください。親指を使用してレバーをロックアウト位置まで押し、レバーアセンブリを好みの位置に回転させ、シフト操作が親指に干渉しないことを確認してください。3mm の内六角板レンチを使用して固定ネジを締め付け、推奨トルク値は 0.8 Nm (7 lbf-inch) です。解除ボタンを押して、レバーがロックされていないことを確認してください。

XFUSION リアサスペンションの取り付け後

気圧スプリングの最大圧力値: 300 psi (20.68 バール) 気圧スプリングの最小圧力値: 60 psi (4.14 バール)

警告!!

リアサスペンションの取り付け手順はフレームによって異なる場合がありますので、必ずオーナーズマニュアルを参照してください。新しい XFUSION リアサスペンションを取り付けるには、認定自転車技術者に依頼してください。適切でない取り付けはサスペンションの機能を損ない、ライダーが車両を制御する能力を失わせ、重大な場合はライダーに負傷または死亡の可能性があります。

注意



乗車前には必ず純正フレームで設定されたトルク値に従って XFUSION リアサスペンションを取り付けてください。

注意



XFUSION Vector および Vector Air シリーズ製品を使用する場合、取り付ける外付け式窒素ボンベの圧力値は、最小で 180 psi 未満、最大で 300 psi を超えてはなりません。これらの理由によるサスペンションの損傷については、メーカーは保証の責任を負いません。

注意



XFUSION リアサスペンションに油漏れや異常な音がある場合は、すぐに XFUSION 修理センターに連絡して点検および修理を行ってください。

注意

XFUSION リアサスペンションを清掃する際には、空気圧や電動ツールなどの高圧機器を使用しないでください。